

令和 7 年 4 月 20 日

山県市議会議長 吉田 茂広 様

議員名 加 藤 義 信

政務活動費収支報告書

山県市議会政務活動費の交付に関する条例第6条に基づき、下記のとおり 6 年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収入

政務活動費 240,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	金額	備考
調 査 研 究 費		
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費	63,635	パソコン代・インクカートリッジ代
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計		

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 収入支出差引額

176,365

円

様式第3号（手引き第4章関係）

6年度 山県市議会政務活動費会計帳簿

議員名 加 藤 義 信

（ 令和6年 4 月 1 日 から 令和7年3 月 31日 まで ）

単位(円)【 - 】

日付		整理	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充 当 額	支出可能額 (残)
5	23	1	資料作成費	インクカートリッジ代	1,337	935	239,065
6	4	2	資料作成費	パソコン代	104,500	62,700	176,365
合計					105,837	63,635	176,365

注 この会計帳簿に記載する整理番号及び政務活動費充当額は、領収書貼付用紙の記載した整理番号及び政務活動費充当額と一致する。

様式第 6 号(第 6 条関係)

領収書貼付用紙

年度	令和 7 年度	項 目	資料作成費
整理番号	1	議員	加藤 義信
支出の按分の状況	(按分の内容) 利用率で按分		
	(按分率) 70%		(政務活動費充当額) 935
領収書の補足説明	インクカートリッジ代		

領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄

新製品が安い
KS ケーズデンキ

お買上げ明細

2024年 5月23日(木) 11時16分

(4049000333974)
会員番号 0510010806289

-----<明細>-----

1 ●キャノン380XL381XL
カラークリエーション
4544849672074 KSD-C380XLPGBK 10%
1点 ￥1,337
5%値引対象

1点/合計 ￥1,337
税率別内訳 / 課税対象額 10% ￥1,337
(内消費税額 ￥121)

[0514214-051035189-2310004066840]

領 収 証

2024年 5月23日(木) 11時16分

様
金額 ￥1,337

(内消費税等 ￥121)
税率別内訳 / 課税対象額 10% ￥1,337
(内消費税額 ￥121)

但し、お品代として
上記金額正に領収致しました。

様式第4号(手引き第4章関係)

支 払 証 明 書

支払金額	金額 <u>1,337</u> 円	
支払年月日	令和6年5月23日(木)	
支 払 先	住 所	
	氏 名	ケーズデンキ
支出費目	資料作成費	
支出の用途	インクカートリッジ代	
領収書を徴し得なかった理由	レシートで対応	

上記のとおり支払したことを証明します。

令和7年4月20日

山県市議会議員

加藤義信

様式第 6 号(第 6 条関係)

領収書貼付用紙

年度	令和 7 年度	項 目	資料作成費
整理番号	2	議員	加藤 義信
支出の按分の状況	(按分の内容) 利用率で按分		
	(按分率) 6 0 %	(政務活動費充当額) 62,700	
領収書の補足説明	パソコン代		

領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄

領収証

No.

加藤 義 信 様

2024年 6月 4日

金 額	7	1	0	4	5	0	0
-----	---	---	---	---	---	---	---

但 由

テック・PC-2

☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

内

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

1

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

95000 1 9500

現金・カード・()

HISAGO #778

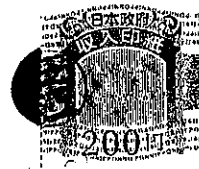
T501-0565 岐阜県揖斐郡大野町中之元30-15

パソコンドクターWIN

安江 勇 登録番号:T5810033940265

TEL:090-7044-7666

登録番号



受付番号 第 号

令和 年 月 日

時 分

山県市議会議長 様

山県市議会議員

加 藤 義 信

一般質問通告書

下記の通り質問したいので、通告します。

質問番号 2 番 答弁者 理事兼健康介護課長

質問事項 窓口での軟骨伝導イヤホンの導入について

質問要旨

窓口用軟骨伝導イヤホンは、聴覚障害者や加齢などで耳の聞こえにくい高齢者等が、役所や金融機関などの窓口で困らないための環境整備を目的として開発されたイヤホンです。2004年に軟骨伝導聴覚の発見者によって開発されました。軟骨伝導は、音伝導経路の一つで、従来から知られている気導、また骨伝導とは異なることから「第3の聴覚経路」と言われ注目されています。

耳の不自由な方からは、市役所窓口には見えにくい人のための老眼鏡はあるのに、聞こえにくい人のための配慮がなぜないんだろう。との声に、そこで着目されたのが軟骨伝導の仕組みでした。従来の、気導や骨伝導イヤホンでは、イヤホンに音を出す穴があり、先に使用した人が耳に入れると皮脂などが付着するため不清潔で使用ができませんでした。軟骨伝導イヤホンは、

耳の軟骨を振動させて音を伝える新しい技術を用いたイヤホンで、耳穴近くに添えるだけで音を拾うことができ、音を出す穴がなく、きれいな球状で表面に凹凸がないため消毒しやすく、不特定多数の方が利用する窓口では清潔に使用できるため、安心して利用できると言われています。世界初・唯一の清潔イヤホンともされています。

そこで、健康介護課長にお聞きします。

お客様の窓口対応については、相談事などを躊躇なく話をして頂き、内容を適切に説明し理解をして頂く必要があります。聞こえの状態によっては大きめの声で会話をしなければならないこともあるかと思いますが、高齢者等の聞こえの状態によつての現在の窓口での対応についてお尋ねします。

様式第 2 号（手引き第 4 章関係）

6 年度 山県市議会政務活動費備品台帳

議員名 加藤 義信

[1 - 1]

[illegible]